

目 次

| | |
|---------------------------------------|----|
| 提言の要旨 | 1 |
| はじめに | 2 |
| 1 全国の自治体における行政評価の現状・課題 | 2 |
| (1) 導入の背景・導入状況 | 2 |
| (2) 導入の目的 | 3 |
| (3) 導入の成果と課題 | 3 |
| 2 行政評価、総合計画、予算編成におけるそれぞれの問題点の整理 | 5 |
| (1) 行政評価における問題点 | 5 |
| (2) 総合計画の策定・見直しにおける問題点 | 5 |
| (3) 予算編成における問題点 | 5 |
| 3 行政評価を有効に活用するための課題 | 6 |
| (1) 推進部署の連携不足 | 6 |
| (2) 評価結果と財源の不均衡 | 6 |
| 4 先進事例 | 6 |
| (1) 東京都多摩市 | 6 |
| (2) 青森県青森市 | 7 |
| (3) 埼玉県秩父市 | 7 |
| 5 提言 | 10 |
| おわりに | 14 |

提言の要旨

成果重視の政策形成システムの構築について～甦れ！行政評価～

現状と問題点

- 1 「計画・執行重視」から「成果重視」への転換を目指し、多くの自治体において行政評価の仕組みを導入
- 2 行政評価導入の目的は、大きく分けて、
 - ①施策・事務事業の成果向上
 - ②総合計画・予算編成への反映・活用
 - ③住民への説明責任や透明性の確保があるが、特に「総合計画・予算編成への反映・活用」については、多くの自治体において課題と認識

研究課題

総合計画(実施計画)の策定、予算編成に活用可能な行政評価システムの構築

提言

- 1 施策評価を活用して次年度の市政運営の方向性を決定する「政策形成会議」の設置
- 2 施策評価による重点プロジェクトの決定→市政全体における「選択と集中」
- 3 施策内の事務事業優先度評価による実施事業の決定→施策内事務事業の「選択と集中」
- 4 上記①、②の結果及び次年度の財源見通しを踏まえ、実施計画を策定
- 5 実施計画を基本とした予算編成

⇒ **総合計画の目的達成に向け、限られた経営資源を最適配分**

⇒ **成果重視の行政経営へ**